

笑顔のひろば

豆まき会

藤田保育所とくにみ幼稚園では、2月3日の節分に豆まきを行いました。子どもたちは手作りの鬼のお面や帽子をかぶり、「鬼は外、福は内」と元気よく豆をまき、「泣き虫鬼」や「おこりんぼう鬼」などの悪い鬼たちを、心の中から追い出しました。



町の魅力を美しい映像でPR

町公式プロモーションビデオ“第2弾”を公開

このまちの日常が、わたしの日常に——

2nd Story —

みさきに国見町で暮らす先輩から1本の電話が入る。設計の仕事の手伝いに呼ばれた。去年来たときは秋だったから分からなかったけど、国見町の夏はすごく暑い。この時季は、桃の収穫で農家さんはみんな忙しそうだ。こんなに桃が木に実っているのを見るのは初めてで、感動した。ふとした瞬間に窓から入ってくる風は、この土や桃、その土地の香りで満たされていた。みさきは、この町で暮らす先輩の姿と自分の姿を重ねている。



▲公式PVの視聴はコチラから

新たな町の魅力を感じてください

働き方の多様化や新型コロナウイルスの影響で、ワーケーションという働き方が注目されています。自然や人とのつながりを求めて、少し不便なことも受け入れ、人間らしい感覚を大事にしながら地方で働きたいと思う人が増えています。

私たちは、関係人口創出と二地域居住をテーマに、地域の皆さんも参加した町のPR動画の【第2弾】を制作しました。

温かい人が暮らし、豊かな自然とおいしさに囲まれたステキな国見町を、そのままのカたちで編み込みました。

都会に暮らす方々にとって、国見町が“もうひとつの居場所”になってほしいという思いが込められた作品です。町民の皆さんにも、美しい国見町を味わっていただけると嬉しいです。



企画調整課総合政策係
舟山 将さん

Interview — 出演者の思い —



役者（みさき役）
谷田部 美咲さん

農家さんや商店の皆さん、動画スタッフや役場の方々。出会った人たちから「国見町を拠点に良いものを作ろう!」という「こだわり」をたくさん感じ、それがとても魅力的で素敵だと感じました。

撮影終了後の今でも、ふとした瞬間に、国見町で見た美しい空を思い出して「帰りたいな」という気持ちになります。家族のように接して下さる国見の皆さんに会いに行きますね! 大好きな桃や柿は取り寄せて、離れていても国見に関わりたいと思っています。

私が感じた国見町の魅力を、作品を通してたくさんの方々と共に共有できれば嬉しいです。ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました!